

一般研修～文化体験～



中村設計新聞

第百二十九号

十二月二一日

曇り時々雨



お菓子「雪ウサギ」

「はじめに」
 今月の土曜研修は、設計業務についての研修と設計監理研修を行いました。また、教養を身に付ける機会として、日本の伝統的な文化である茶道を体験しました。

「茶道体験」
 午後からは茶道体験を行いました。初めに座学を通して茶道の作法やマナーについて学んだ後に実際にお菓子と抹茶を頂き、茶道の御点前を体験しました。茶道で使用する扇子は結界を意味し日常使用する扇子とサイズが違い、開けて仰いだりすることはマナー違反になるなど、普段知りえないことが知識として得られました。

非日常的な体験ができました。今後、社外に出る時に今回学んだことを活かしたいと思います。



試食の様子



師範の抹茶点て



作法講座の様子

天井・壁改修

「中村設計 天井・壁改修」
 トイレ改修に続き、現在当社では天井の塗装改修、壁の壁紙の張替改修工事を順次行っています。壁紙は所員から候補を募りました。選定に当たり、色や柄だけではなく、消臭や防汚機能が付与されているものや改修工事で扱いやすい材料かも検討して選定しました。また、来訪者から見える部分にアクセントとして、2階には中村設計のカラーでもあるブルー、3階には目に優しいグリーン、食堂は木目調を採用しました。

工事期間中には解体の方法や実際に幅木や壁紙をはがしたり、職人さんに気になったことを質問したり、居ながら工事を体験することで図面を書くだけでは分からないことがありました。業務にも活かしていきたいです。



2階 事務所



3階 食堂

設計・監理研修

「油屋 高付加価値化事業」
 本事業は、国土交通省 観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」として、地域で立案する宿泊施設の改修等を含む、観光拠点再生計画に基づき実施される取組を支援する事業で、令和5年度、令和6年度伊根町が採択されました。その一環として温泉旅館、油屋さんの改修に当社が携わることとなりました。建築主よりご相談を賜り、改修案や補助金申請のご支援を経て、改修工事が竣工しました。補助金事業の場合、業務の進め方や、スケジュール管理が普段にも増して重要であること、また、施設の価値向上、集客力の向上、利用者の快適性等改善に繋がるよう意識した点等、研修を通して共有しました。

「改修前」
 宴会場

「改修後」
 特別室



年末のあいさつ

まもなく2024年が終わります。本年もご愛読いただき、誠にありがとうございました。来年もみなさまに親んでいただけるような、見やすく伝わりやすい情報を発信していきます。どうぞ良いお年をお迎えください。



良いお年を！

「チェコ共和国」
 先日、十年以上ぶりに行った店でジャズセッションの心地良い音楽に癒される時間を過ごしました。いつの時代でも、どんな時でも、音楽は人の心に染み入る素晴らしいものだ、グラス片手に実感した夜のひとときでした。 江原 一恵

「久しぶりのライブハウス」
 先日、十年以上ぶりに行った店でジャズセッションの心地良い音楽に癒される時間を過ごしました。いつの時代でも、どんな時でも、音楽は人の心に染み入る素晴らしいものだ、グラス片手に実感した夜のひとときでした。 江原 一恵

「EXPO2025 ワールド・トリビア」
 チェコは中央ヨーロッパに位置し、東はスロバキア、西はドイツ、北はポーランド、南はオーストリアと接しています。四季があり、日本と比較すると涼しい気候です。魅力的な観光地が数多く、首都プラハには、プラハ城や天文時計、ティーン教会、ヤン・フスの記念像、カレル橋等、観光客に人気です。他にも中世の雰囲気を残すチェスキー・クルムロフ、温泉リゾートのカルロヴィ・ヴァリが有名です。中世ではチェコ・ボヘミア王国、16世紀からはハプスブルク帝国の一部となり、文化・経済共に発展しました。1918年にチェコスロバキアが独立し、1989年のビロード革命後、民主化が進み、1993年に現在のチェコ共和国が成立しました。

「パピリオンのテーマは「バイタリティを彫刻する」
 外観には伝統的なボヘミアクリスタルが用いられ、美しい回廊をぐるぐる巡りながら、チェコへの理解を深めたいです。」

前田直美